

第1回 多摩市再生エネルギー事業化検討委員会 議事録		番号	議 001
		頁	1 / 2
議 題	委員自己紹介 委員会承認・委員長の選任 事業化検討対象地域の現状把握状況報告 事業化検討基本事項（方向性）の確認 基本情報専門部会から調査内容の提案 議事全般について意見・質疑応答 シンポジウムの告知	日時	2012年 10月 29日(月) 17:30 ～ 19:00
		場所	Win プラザ多摩センター
		出席者	星旦二、山川陽一、宗像慎太郎、戸辺文博、會田勝康、 神山一、須永修通、武内喜則、高森郁哉、秋元孝雄、鈴木隆史、澤山弘、大木貞嗣、片桐徹也、林久美子 (順不同、敬称略)
議 事 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境省事業化検討の申請書</li> <li>・ 委員・専門委員メンバー表（案）</li> <li>・ 調査対象地域の基本情報</li> <li>・ 事業化検討事業仕様書</li> <li>・ 基本情報部会調査提案書</li> <li>・ シンポジウムちらし</li> </ul>		
議 事 内 容 ( 要 約 )			
<p>1. 委員自己紹介</p> <p>2. 委員会承認・委員長の選任……星委員長と江川副委員長を選任し、承認した。</p> <p>【議事1. 事業化検討対象地域の現状把握状況】</p> <p>平成24年度地域主導型再生可能エネルギー事業家検討委託業務への提案を概説。多摩ニュータウン（NT）4市＝多摩市、八王子市、町田市、稲城市を河川と上下水道の水系を考慮して環境とエネルギー循環を検討する。</p> <p>集合住宅や公共施設などの屋根は太陽光発電の観点からすると「財産」。また、集積度が高い多摩センター駅周辺エリアには、地域冷暖房が導入されているものの発電設備がないのが現状。ここを再エネやコージェネで無停電都市化して産業拠点にする構想も描けるのでは。ほかにも、小水力、ごみ発電、バイオマス発電など検討したい。</p> <p>協議会の今後の取り組みについて。まず事業体を作って、そこが発電事業を担い、コミュニティービジネスに展開していく。市民の資金を導入する。公共施設、集合住宅の屋根を借りて電気を発電し、電力会社に売電する。その仕組みを地域経済、エネルギーを含め循環させていく。</p> <p>事業化検討協議会の仕組みとしては、再生可能エネルギー事業化検討委員会が、事業化検討専門委員会の提案を受けて検討する。専門委員会は、それぞれが専門分野を担当して、事業化を考え、事業化検討委員会の場に提案する。</p> <p>意見1：剪定枝などはバイオマス発電に使えないか。 → 都市部では規模が小さく、発電の事業化は困難。発電するのではなく熱として利用するほうが、まだ可能性があるという状況。</p> <p>【議事2. 事業化検討基本事項（方向性）の確認】</p> <p>「平成24年度地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務仕様書案」の内容を確認。</p> <p>意見1：市民からの資金調達に関して、金融機関との連携で、出資して本当に大丈夫という安心感を与える保証が必要。たとえば分譲住宅修繕金が億単位になっているが、これを地域の発電事業に出資してもらえたら、地域循環の仕組みにつながる。 → 建物の持ち主から見ると、屋根を貸し、ファンドからも収入を得て、2つの収入となる。実現すれば素晴らしいが、信用してもらえる体制作りが不可欠。</p>			
～ 次頁へ ～			

## 議事内容(要約)

～ 前頁より ～

## 【議事3. 基本情報専門部会から今後の調査内容の提案】

太陽光発電パネル設置のための屋根貸しに関する意向調査実施概要(案)について。アンケート、訪問調査を検討。来年1月いっぱいまで調査を終え、年度末に報告会を行う。報告会は地域啓発も考慮し、一般公開で実施したい。

## 【議題全般についての意見・質疑応答】

意見1: モデル事業の売電は2月に開始とあるが、FITに基づく場合、系統連携協議に3ヶ月、設備認定で1か月、計4ヶ月かかる。→ 間に合うよう、契約に向けた折衝と事業会社設立準備を平行して進めている。

意見2: 協議会の事業化検討の対象として、太陽光発電以外についてはどう扱うか。→ エネルギー循環という観点では、外断熱による省エネ、水道の高低差を利用する小水力など、将来的に検討したいものはいくつもあるが、優先的に早く検討すべき対象は、やはり太陽光発電ということになる。環境省との委託業務仕様書に沿って進めることになる。

意見3: 資金調達の手法、仕組みに関して。まず市民出資で賄い、不足分を融資で補うという考えか。モデル事業についての資金調達は。→ 継続的な事業を前提とすれば、市民出資で不足する分は融資で補わないといけない。二本立てで詰める。モデル事業は30kWで1000万円くらいなので、ファンドとは別の方法で調達することになるだろう。金融商品取引法をクリアし、適切な方法を検討する必要がある。

## 【シンポジウムの告知】

12月1日、多摩市循環型エネルギー協議会と太陽エネルギー学会と共催でシンポジウムを開催する。場所は永山駅近くのJTBフォレストで、同学会の荒川裕則氏が基調講演を行う。

以上